

I 平成21年度に実施した事業の概要

本センターの目的を達成するため、21年度に行った主たる事業及びその概要は次の通りである。

1. 中部地域への「飛行実験場」等の機能の誘致

(定款第4条第1号関係)

平成17年度から愛知県、名古屋市、中部経済連合会等と県営名古屋空港隣接地への誘致を進めてきたJAXAの飛行実験場が正式に決定された。(平成21年6月8日付)これに伴い、JAXAが22年度初頭に導入を予定しているジェット飛行実験機(セスナ社のサイテーション ソブリン)は愛知県が県営名古屋空港隣接地に整備を進めている航空機に関する研究開発施設(延べ床面積2400mm²)を拠点として、平成23年度より運用されることとなった。

誘致要望実現に関してお礼

活動日 : 平成21年7月2日

参加団体等 : 愛知県、岐阜県、名古屋市、(社)中部経済連合会
名古屋商工会議所及び当センター

お礼先 : (独)宇宙航空研究開発機構、文部科学省、経済産業省

2. 愛知県からの委託事業(ふるさと雇用再生特別基金事業)

事業の名称:「国産航空機部品開発支援事業」

(定款第4条第2、3、4号関係)

平成21年3月に策定された愛知航空宇宙産業振興ビジョンのアクションプラン実現に向けて航空機部品開発支援のため「航空機部品供給システム研究会」の専門研究会を立ち上げ、推進するために、新規に常勤4名、非常勤2名を雇用し下記支援事業を実施

(1) 中小企業ネットワーク構築(工程改善)研究会活動立ち上げのための事前調査

・各種団体のネットワーク、工程改善等に関する調査

平成21年 9月15日 中部アイティ協同組合(中小ソフトウェア協同組合)

平成21年 9月 3日 川崎岐阜協同組合

平成21年12月15日 東京都中小企業グループ「アマテラス」

平成22年 1月13日 次世代型航空機部品供給ネットワーク OWO

平成22年 2月10日 まんてんプロジェクト、JASPA(株)

平成22年 2月26日 ウイングウィン岡山

平成22年 3月 9日 秋田県輸送機コンソーシアム

- ・ PHS 発信機による部品の流れ調査
平成 21 年 10 月から平成 22 年 1 月まで、航空機部品 100 点の発注から納入までの各工程間の移動距離、移動時間等の調査（川上・川下ネットワーク構築事業に関連）

(2) 航空機部品加工技術高度化のための研究会

- ・ 今年度は表面処理技術に絞り、既存航空機産業企業 6 社及び新規参入鍍金企業 5 社を集め計 4 回開催

第 1 回研究会 開催日・場所：平成 21 年 10 月 21 日、愛知県三の丸庁舎

話題提供：「航空・宇宙における表面処理」

アドバイザー 今村 次男

参加者：29 名

第 2 回研究会 開催日・場所：平成 21 年 12 月 25 日、ウインクあいち

話題提供：「NadCap の特殊工程管理」

(株)ティ・エフ・マネジメント 門間 清秀

参加者：24 名

第 3 回研究会 開催日・場所：平成 22 年 1 月 26 日、ウインクあいち

話題提供：「カドミウム (Cd) と六価クロム (Cr⁶⁺) を代替する航空機用亜鉛ニッケルメッキ (Zn-Ni)」

(株)島津製作所航空機器事業部 齊藤 英文

参加者：31 名

第 4 回研究会 開催日・場所：平成 22 年 3 月 11 日、ウインクあいち

話題提供 1：「航空宇宙産業における表面処理について」

ヘンケルジャパン(株) エアロスペース 佐渡 紀昭

話題提供 2：「アルミ上への高耐食性ニッケルクロムメッキ技術」

ベリテック三協(株) 常務取締役 山田 泰彦

参加者：29 名

(3) 中小企業の新規参入研究会

- ・ 航空機部品供給システム研究会会員企業 (233 社、平成 21 年 9 月末時点) の内、航空機産業に未参入の製造業 92 社及び平成 19 年度川上・川下事業に参加していた 4 社を加えた 96 社に対して案内し、25 社が説明会に参加。その中から新規参入研究会参加希望企業を募り、最終的に集まった 8 社で新規参入研究会 (第 1 回) 開催

- ・参加企業募集説明会（平成21年11月19日、ウインクあいち）
 - 話題1：「航空宇宙産業へのガイダンス」
 (株)航空システム研究 代表取締役 炭田 潤一郎
 - 話題2：「航空機産業の品質マネジメント概要」
 (株)和興 品質保証部 山中 毅

- ・第1回研究会

開催日：平成22年2月15日、
 川崎重工業(株)航空宇宙カンパニー 航空機部品製造及び組立現場の見学と
 意見交換
 参加者：22名

(4) 中小企業への情報提供

- ・メルマガ 「Aerospace News 中部」の発刊
 平成21年9月17日に第1号を発刊し、隔週で継続し、平成21年度は13号までの配信を行った。先端技術情報、イベント情報、支援制度情報などに加えビジネス航空ジャーナリストの連載記事を収集し、工夫を凝らした手法で提供しており、3月末で1100部の配信を行っている。

3. 名古屋市からの委託事業（ふるさと雇用再生特別基金事業）

事業の名称：「航空宇宙産業地域ブランドの発信事業」

(定款第4条第4、5号関係)

常勤者3名の新規雇用により以下の事業を行った。

- (1) 地域内航空宇宙関連企業にかかる情報収集
 航空宇宙関連の中小企業約90社を対象に航空機部品の海外取引等についてアンケート調査を実施
- (2) 海外航空宇宙産業展示会での地域ブランドの発信及びJA2012の宣伝活動
 - ・オランダ航空宇宙関連企業及び団体に対するPR活動
 (平成21年12月7日～11日の5日間に11社・団体・大学を訪問)
 - ・シンガポールエアショー（平成22年2月2日～7日開催、海外向けPRパンフレット配布）
 - ・イギリス及びフランスでのPR活動
 (平成22年3月22日～26日の5日間のミッション団で9社・団体・大学を訪問)

(3) 海外向けPRパンフレットの作成

中部地域の航空宇宙産業を海外に向けてPRするためのパンフレット（英文・和文併記）を新たに作成。今年度の掲載企業・団体は23であったが、継続して充実していく。

上記（2）、その他で配布活動を続け、これまでに約1000部のパンフレットを配布し、名古屋地域航空ブランドのPRを行った。

(4) 航空宇宙関連展示会開催協力

・JA2012 開催準備支援会議の事務局

日本航空宇宙工業会(SJAC)が主催する「2012年国際航空宇宙展」(略称:JA2012)の開催地が名古屋地区(ポートメッセ及びセントレア)に決定されたことを受けて、この地域がSJACの開催を支援するために「JA2012 開催準備支援会議」を7団体(愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、中部経済連合会、名古屋観光コンベンションビューロー、名古屋都市産業振興公社及びC-ASTEC)で立ち上げ(平成21年5月21日)、その事務局を担当。

4. 人材養成等支援事業(平成21年度地域企業立地促進等事業費補助金)

事業の名称:「東尾張地域航空機産業活性化人材養成等事業」

(定款第4条第6号関係)

航空宇宙産業における人材育成ニーズを踏まえ、企業在職者を中心に未就業者や受講可能な学生を対象に、CATIA V5技術にかかわる徹底した基礎技術の習得、更に高度な製品データ統合管理用ツール及び生産プロセスツールの実践的習得もできるように、座学と共に実習に重点を置いた「航空機設計に関わるCATIA基礎講座」を開講することにした。

当センターが管理法人となって、名古屋大学、三菱重工業(株)、中菱エンジニアリング(株)とコンソーシアムを形成し、新規に非常勤研究員2名を雇用すると共に、カリキュラム、テキストを開発し、設計製図用機器20台を実施場所である名古屋大学航空・機械実験棟201号室に設置した。下記2コース開講を進めるにあたって、平成21年10月19日に中部経済産業局、愛知県、名古屋大学、三菱重工業(株)、中菱エンジニアリング(株)、(株)菱友システムズ等関係者約30数名の参加を得て開講式を行った。

(1) 社会人向け(A)コース: H21.10.19~H22.2.19 240Hr

- ・東尾張地域の航空宇宙産業を中心に参入が期待できる産業分野の企業在職者計20名受講

(2) 学生向け(B)コース : H21. 10. 16~H22. 2. 5 56Hr

・名古屋大学、愛知工業大学、名城大学の学生及び企業在職者 計 20 名受講

5. 中小企業基盤整備機構からの委託事業「川上・川下ネットワーク構築事業」

事業の名称 : 「新航空機部品供給ネットワーク構築事業」

(定款第4条第2、3号関係)

航空機部品製造は、川下企業から川上企業への指示のもとで単一部品加工を行う賃加工、即ち鋸歯的生産方式が取られており、コスト・納期・輸送などの点で非効率的になっている現状を改善するため、川上企業のネットワーク化を図り、プル生産、一貫生産など川下企業の要求に応じた生産方式のモデル構築を目的として行った。

1名のジョイントコーディネータ、2名の技術アドバイザーを委嘱し、航空機部品を供給する川上中小企業16社を中心に1社の川下企業協力の下に、「航空機部品供給ネットワークフォーラム」を構築、川上・川下両社の代表、行政機関等からなる運営委員会を設置して、その下に要件明確化チーム及び実態調査チーム等による活動を行い、航空機部品供給川上/川下ネットワークモデルを設定した。

また、参加者全員による企業視察を行い、部品供給に関する意見交換を行った。

- | | | |
|--|---|------------|
| (1) 川下企業の求める要件の明確化 | : | 検討部会を2回開催 |
| (2) 部品の流れの実態調査と分析 | : | 検討部会を1回開催 |
| (3) 他企業(住友精密工業(株)、(株)島津製作所)調査 | : | 見学・意見交換会実施 |
| (4) 航空機部品供給川上/川下ネットワークのモデル設定と具体化に向けた
推進体制構築 | : | 運営委員会4回開催 |

平成22年2月4日に、中小企業基盤整備機構主催の成果発表会にてこれらの成果を発表した。

6. 航空宇宙シンポジウム2009の開催

(定款第4条第1~4号関係)

愛知県、名古屋市、あいち産業振興機構、名古屋都市産業振興公社及びC-ASTECの5団体で構成する航空宇宙シンポジウム実行委員会(事務局を担当、委員長C-ASTEC専務理事)を設置。平成21年11月30日~12月1日に新装なったウインクあいちにて「航空宇宙シンポジウム2009」を開催するために、展示企業、講演テーマと講演者、商談会などを企画立案し、実現に向けて活動。

開催日・場所：平成 21 年 11 月 30, 12 月 1 日、 あいち産業労働センター
(ウインクあいち)

事業の目的：航空宇宙産業振興に係わる最新情報についての産学官の講演会、機体・エンジンメーカーと部品供給企業、運航企業、大学研究機関等の最新技術展示会、新たに参入希望を持つ企業との商談・相談会等を実施し、中部の航空宇宙産業の発展に寄与すること。

事業の成果：・展示会：20 機関 (16 企業、3 大学・専門学校、C-ASTEC)

・商談・相談会：発注側企業 8 社

(東レ(株)、旭金属工業(株)、川崎重工業(株)、富士重工業(株)、ナブテスコ(株)、(株)IHI、三菱重工業(株)、多摩川精機(株))

受注側企業 101 社、面談件数 117 件

・展示会参加者数：981 名

・報告書作成：「航空宇宙シンポジウム 2009 報告書」

・講演会：次に示す 8 件 (行政 2、大学研究機関 1、企業 5 件)

1, 144 名の聴講者

基調講演「我が国の航空機宇宙産業の最近の動向について」

経済産業省製造産業局 航空機武器宇宙産業課長

広瀬 直

基調講演「宇宙分野の研究開発について」

文部科学省研究開発局 参事官

松尾 浩道

講演「国産旅客機 MRJ を世界の空へ」

三菱航空機(株) 取締役副会長

戸田 信雄

講演「航空機産業における生産技術について」

川崎重工業(株)航空宇宙カンパニー 生産本部長

石川 主典

講演「炭素繊維複合材料の先進技術について」

東レ(株) A&A センター アドバンスドコンポジットセンター長

関戸 俊英

講演「航空機開発における JAXA 航空の役割」

JAXA 航空プログラムディレクター

鈴木 和雄

講演「航空機産業への参入とその後～表面処理と加工技術～」

旭金属工業(株) 常務取締役

中村 止

講演「Building the future of aviation」

ボーイング・ジャパン、オペレーション、ストラテジー担当部長

トーマス ブレケンリッジ

7. 航空機産業の技術高度化や新規参入の支援

(定款第 4 条第 1～4 号関係)

(1) 航空宇宙産業フォーラム推進会議の開催

開催日・場所： 平成 21 年 6 月 2 日 東京第一ホテル錦

議 題：

- ① 平成 20 年度総括
- ② 今後の取り組み方針
- ③ 意見交換

(2) 中部地域航空宇宙関連産業集積活性化ビジョンの策定と事業計画

中部地域における航空宇宙関連産業の集積地である愛知県、岐阜県及び三重県の中部 3 県は、当地域における主たる基幹産業の一つである航空宇宙関連産業のさらなる集積と高度化を目指して、「中部地域航空宇宙関連産業集積化成果ビジョン」(企業立地の促進による地域における産業集積の形成及び活性化のための連携に関する基本合意)を策定し、企業立地法に基づく広域事業に取り組むことで合意。事業実施に際しては当センターが広域地域における調整を担い、研究開発支援、市場の拡大、人材育成の 3 本柱を事業の核として実施していくことになり、平成 22 年度事業に取り込む計画を立てた。

(3) 愛知県航空機部品供給システム研究会の開催 (愛知県と共催)

第 3 回定例講演会 (講演：2 件、平成 21 年 7 月 1 日、名古屋銀行協会)

航空機産業の参入に必要な加工技術を考える

～航空機部品加工のメイン：金属加工技術～

「航空機金属部品加工の現状と将来」

三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所

大江工作部 次長

岡部 和久

「航空機機械部品の 5 軸加工について」

アイコクアルファ(株) 専務取締役 金丸 允昭

「愛知県航空宇宙産業振興ビジョンの概要と 21 年度の取り組み」

愛知県

第 4 回定例講演会 (講演：2 件、平成 21 年 10 月 23 日、セントレアホール)

民間航空機の整備の現状と装備品を考える

「航空機部品の整備と整備部品について」

全日本空輸(株)整備本部副部長 河野 道秀

「航空機電装品事業への取り組みと将来展望について」

多摩川精機(株) 代表取締役社長 萩本 範文

第 5 回定例講演会 (講演：2 件、平成 22 年 2 月 5 日、ウインクあいち)

航空機複合材の現状と将来～より強く・より軽く…「CFRP」を中心に～

「航空機複合材部品の現状と課題」

三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所

大江工作部 部長 丹羽 高興
「航空機構造の変遷と名古屋大学における複合材研究の取り組みについて」
名古屋大学 複合材工学研究センター センター長 上田 哲彦

第1回～第5回スポンサーシップ専門研究会の開催支援

(4) 岐阜県航空機部材研究会

岐阜県研究開発財団及び岐阜県機械材料研究所が平成20年度から取り組んでいる知的クラスターⅡ期計画に関わるCFRPなどの新材料の利用のための加工技術、難削材料の精密加工の研究会活動（メンバー：30社）に参加。

今年度は第1回～第5回の研究会（テーマ：CFRPの成型及び穴明け加工）に参加。

(5) 産業技術人材育成支援事業（名古屋大；産学人材育成パートナーシップ事業）

名古屋大学は航空機開発 DBT (Design Buildup Team) リーダーシップ養成講座のプロジェクトを開始。当センターは運営委員会及びカリキュラム評価委員会の委員として参加。

今年度はカリキュラム及びテキストの作成。22年度に実証講座を開講予定。

(6) 戦略的基盤技術高度化支援事業（通称；サポイン）

現在、中部経済産業局管内で7件の航空宇宙関連の研究開発プロジェクト（内2件は平成21年度補正予算による単年度事業）が行われている。当センターは次に示す4件（切削3件、溶射1件）のプロジェクトの技術アドバイザーとして指導的役割を果たしてきた。

① 「難削材（耐熱合金インコネル材）の加工技術高度化の研究開発」

コア企業 株式会社瑞木製作所、 支援大学 名工大

② 「難切削材料（炭素繊維）に対応した新加工技術の開発」

コア企業 三重樹脂(株)、 支援大学 愛知工科大学

③ 「難削材、及び新素材の高能率、高精度加工を可能にする切削工具の開発」

コア企業 ビーティーティ(株)、支援大学 名工大

④ 「環境配慮に適應した溶射技術高度化の開発」

コア企業 旭金属工業(株)、 支援大学 北海道大学、九工大

(7) 産業クラスター・フォーラム事業

平成21年9月29, 30日開催のグレーター・ナゴヤ・クラスター・フォーラム（セミナー、ビジネス・ミーティング、企業見学会等）を支援。

メキシコ航空宇宙関連企業・団体及びスネクマ社（仏）の講演及びビジネス・ミーティングを実施。

講演「日本におけるスネクマ社の活動について」

スネクマ東京 開発部長

パラン ジャンポール

講演「発展を続けるメキシコ航空宇宙産業」

FEMIA 事務局長

カルロス ベージョ

講演「なぜ、ボンバルディア社はグローバル化拠点としてメキシコを選んだか」

ボンバルディア メキシコ社 社長 フラビオ ディアス

講演「墨日経済連携協定 (EPA) を活用した日本とメキシコ航空企業間の投資と事業機会」

在日メキシコ大使館 公使

ラウル ウルテアガ

8. 地域間交流支援 (RIT) 事業、研究会・事前調査

(定款第4条第5号)

今年度は来年度の正式事業への提案に向けての事前調査としての位置づけで、MRO (Maintenance, Repair & Overhaul) 事業を主なテーマとして、4回の研究会の開催及び海外出張調査(対象地域; オランダ航空宇宙関連11企業・団体)を実施。研究会活動の結果、来年度の事業への取り組みについては、時期尚早との結論となり、申請は行わないが、別途研究会活動として継続することとなった。

第1回研究会 開催日・場所: 平成21年7月24日 JETRO名古屋センター

話題提供: 「航空機産業分野のMROについて」

ビジネス航空ジャーナリスト 石原 達也

第2回研究会 開催日・場所: 平成21年9月3日 セントレアビル

話題提供: 「航空機整備市場の将来展望(経営戦略)について」

(株)ジャムコ経営企画部長 木村 敏和

「航空機部品の調達と管理」

(株)日本航空インターナショナル整備本部

部品企画本部・契約グループ 前田 周佑

第3回研究会 開催日・場所: 平成22年1月8日 JETRO名古屋センター

話題提供: 「RIT オランダ事前調査出張報告」

第4回研究会 開催日・場所: 平成22年2月1日 JETRO名古屋センター

話題提供: 「オランダにおける航空機部品設計・製造、機体メンテナンス分野及び航空機産業人材養成機関など実態調査」

中日本航空専門学校 教授 川畑 建郎

海外（オランダ）調査事業

オランダ訪問日 : 平成 21 年 12 月 7 日～11 日

訪問地 : アムステルダム、マーストリヒト等

参加者 : 中日本航空専門学校、中部経済産業局、C-ASTEC

訪問先 :

ジェトロアムステルダム事務所

ネザーランズ・エアロスペース・グループ (NAG、オランダ航空産業振興団体)

ADSE (エンジニアリング・コンサルタント)

Atkins Nedtech (エンジニアリング外注設計)

Microflown Technologies (精密小型騒音計 (音響粒子速度プローブ) 設計
開発)

マーストリヒト・アーヘン・空港 (旅客・貨物空港)

Samco Aircraft Maintenance (リ - ジョナルジェット機、コンピューター機整備、MRO)、

Hamilton Sandstrand (プロペラ・空調機器、燃料計機器の修理サービス、
MRO)

Nedaero Components (航空計器・燃料計、アクチュエータ等の修理、MRO)

デルフト工科大学航空宇宙工学部

Aviation Competence Centre (航空整備士養成学校、人材育成)

National Aerospace Laboratory (技術研究開発)

9. 航空宇宙産業の国際競争力強化に向けた欧州ミッション派遣

(定款第 4 条第 5 号)

訪問日 : 平成 22 年 3 月 21 日～26 日

訪問地 : ロンドン、ブリストル、パリ、ヴァルドワースを訪問

参加者 : 中部経済産業局、関東経済産業局、名古屋大学、名誘協力会 (MASTT)、
住友商事(株)、名古屋商工会議所、C-ASTEC, GNIC

主催事業 : 対日ビジネスセミナー「グレーター・ナゴヤの魅力、日本最大の航空宇宙
産業集積地のご紹介」於 ジェトロ・ロンドン・センター

訪問先 : ジェトロ・ロンドン・センター(在英日本大使館参事官)

Advancing UK Aerospace Defence & Security Industries (ADS)

South West of England Regional Development Agency

West of England Aerospace Forum (WEFA)

University of Bristol (複合材研究施設 (ACCIS) 見学)

GKN Aerospace (事業説明および工場見学)

SNECMA (事業説明および MASTT と商談)

ジェトロ・パリ・センター

10. 内外関係団体との連携

(定款第4条第5号)

(1) パリエアショーへの中小企業の出展支援

21年6月15日～21日に開催された第48回パリエアショーで、ブースを借り上げ、海外市場拡大のため中部地域の中小企業を中心に13社の出展及びビジネス・ミーティングを支援。またセミナー開催、各国航空宇宙関連団体と交流を図った。

ミーティング実施先

- ① 機体メーカー (2社) : エアバス、ボンバルディア
- ② 部品製造メーカ (8社) : スピリッツ、グッドリッチ、スネクマ、アレニア、テンカテ、ユーロメタル、エスティープ、フォンドリーメルシーヨーロッパ
- ③ 航空宇宙関連団体 (9機関) : アステック、アエロスペースバレー、ローヌアルプクラスター、ヴァルドワース開発公社 (以上フランス)、南西イングランド地域開発公社 (WEFA を含む)、メキシコ航空宇宙工業会 (FEMIA)、オランダリンブルフ州開発公社 (LIOF)、オランダアエロスペースクラスター、アエロモントリオール

(中部経済産業局、GNIC、JETRO、東海ものづくり創生協議会等と協賛)

(2) メキシコ航空宇宙工業会 (FEMIA) の来名

平成21年9月29, 30日 開催のグレーター・ナゴヤ・クラスター・フォーラムで来名したメキシコ航空宇宙関連企業・団体 (11社) 及び駐日メキシコ大使と当センター理事等との昼食懇談会を主催。

(3) オランダ関連

- ・平成21年6月のパリエアショーへの参加時に、オランダ・リンブルグ州開発公社 (LIOF)、Maastricht Aachen Airport、Aviation Competence Center (教育機関)、Samco (MRO 企業)、Hamilton Sundstrand 等の視察と意見交換。
- ・平成21年10月2日 オランダ総領事館主催名古屋セミナー、マルガリータ・ボット総領事就任あいさつ、TENCATE Loek de Vries 社長の複合材セミナー
- ・12月のRIT事業でのオランダ調査時にオランダ航空宇宙グループ (NAG) 等と意見交換。

(4) カナダ関連

- ・ 平成21年 6月 3日 カナダ大使館 ピーター・マッカーサー公使(商務)来団
- ・ 平成22年 3月 12日 カナダ領事館とケベック州航空宇宙研究・革新連合体 (ORIAQ) の来団、日系企業との共同研究開発の要請に対して、日本における産学官共同研究の仕組みについて説明

(5) イタリア 関連

平成21年 10月 2日 ピアモンテ州 Torino Piemonte Aerospace と航空機産業について意見交換

(6) 米国ウエストバージニア州関連

ウエストバージニア州政府日本オフィスと平成21年 10月 14日～16日開催の「International Aerospace Mission」関連で意見交換及び参加希望企業の紹介

(7) 英国北西イングランド地域開発公社西日本事務所

平成22年 3月 2日 欧州ミッションのロンドンセミナーへの出席依頼。今後の交流方法について意見交換

(8) MASTT とスネクマとの商談会

第1回 平成12年 12月 16日、東急ホテル MASTT18社が参加して、各社のPRプレゼンを実施

第2回 平成22年 3月 16日、(株)三光製作所、工場視察と意見交換

第3回 平成22年 3月 24日、スネクマ社

(9) 各種団体等との連携、後援、協賛等

【共催事業】

- ・ グレーター・ナゴヤ・クラスターフォーラム

(平成21年 9月 29日、ホテル・グランコート・名古屋、主催：メキシコ大使館、中部経産局、GNIC等)

【協賛事業】

- ・ 水ロケットまつり 2009 (平成21年 9月 21日 主催：YAC各務原分団等)
- ・ 青少年のための科学の祭典 2009 (平成21年 10月 3日～4日 主催：中部科学技術センター、名古屋市科学館)
- ・ 航空宇宙フェア`09 (平成21年 10月 10日～11日 主催：日本航空宇宙学会 中部支部)

「はやぶさ小惑星探査～イオンエンジンによる宇宙動力航行～」

JAXA 宇宙科学研究本部 教授 国中 均

「JAXA 航空の活動と名古屋への展開」

JAXA 航空プログラムディレクター 鈴木 和雄

「エアバスの航空機と新しい空の旅」

エアバス・ジャパン 日本担当コミュニケーション/ディレクター 野坂 孝博

・全国水ロケット大会(平成 21 年 11 月 21 日～22 日 主催：愛知県、YAC 等)

【後援事業】

・第 39 回 JAXA タウンミーティング(平成 21 年 10 月 5 日 主催：JAXA, 愛知県)

講演 1 「国産旅客機開発に向けて、JAXA の技術協力」

講演 2 「H-II B ロケットの打ち上げと我が国の宇宙輸送の将来」

・ものづくり岐阜テクノフェア 2009(平成 21 年 11 月 13 日～14 日 主催：岐阜県工業会)

・名大 CERC シンポジウム 10(平成 22 年 2 月 19 日 主催：名古屋大学複合材工学研究センター)

・緊急経済対策セミナー／航空機産業から見るグローバル戦略（なぜ中国は、国策で社用ジェットの利用拡大を急いでいるのか）

(平成 22 年 3 月 25 日 主催：日刊工業新聞社)

1 1. センターのホームページ及びパンフレット改訂

センターからの定期的な情報提供のためのメルマガ発行に必要な容量を確保するために、サーバーを変更し、従来のホームページを全面的に改定（平成 21 年 12 月）し、内容を豊富にすると共に、各種事業への対応に備えられるようにしました。

これに伴い、当センターのメールアドレスも変更になりました。

また、併せてセンターのパンフレットを全面改定。

1 2. 公益法人制度改革対応

平成 21 年 12 月 18 日に第 1 回運営企画会議を開催し、委員を対象に当センターの顧問公認会計士 後藤 貞明氏より「公益法人制度改革の最新情報について」の講演をお願いした。その情報等をもとに、公益法人制度改革への対応について意見交換を実施。

関連団体等との情報交換を進め、各団体の取り組み状況を把握し、当センターの方向を検討しつつある。

II 総会・理事会の開催

1. 第16回通常総会の開催

開催日・場所： 平成21年6月2日 東京第一ホテル錦

議案：

- 第1号議案 平成20年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）の承認に関する件
- 第2号議案 平成21年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認に関する件
- 第3号議案 事務局長の委嘱に関する件
- 第4号議案 役員（理事、監事）の選任に関する件
- 第5号議案 入会会員の承認に関する件

2. 第44回理事会の開催

開催日・場所： 平成21年度6月2日 東京第一ホテル錦

議案：

- 第1号議案 平成20年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）の承認に関する件
- 第2号議案 平成21年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認に関する件
- 第3号議案 事務局長の委嘱に関する件
- 第4号議案 役員（理事、監事）の選任に関する件
- 第5号議案 入会会員の承認に関する件

3. 第45回理事会の開催

開催日・場所： 平成21年度6月2日 東京第一ホテル錦

議案：

- 第1号議案 会長、副会長及び専務理事の互選に関する件
- 第2号議案 副会長の会長職務代行順位に関する件
- 第3号議案 顧問、参与の推薦に関する件

4. 第46回理事会の開催

開催日・場所： 平成22年3月8日 東京第一ホテル錦

議案：

- 第1号議案 平成21年度収支予算書変更案の承認に関する件
- 第2号議案 平成22年度事業計画書案及び収支予算書案の承認に関する件
- 第3号議案 平成22年度短期借入限度額の承認に関する件
- 第4号議案 入会会員の承認に関する件
- 第5号議案 役員（理事）の選任に関する件
- 第6号議案 顧問の推薦に関する件

Ⅲ 常設委員会等の開催

1. 第32回運営委員会

開催日・場所： 平成21年5月18日 名古屋商工会議所

議 題：

(1) 第16回総会及び第44回理事会への提出議案について

① 平成20年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）の承認に関する件

② 平成21年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認に関する件

③ 事務局長の委嘱に関する件

④ 役員（理事、監事）の選任に関する件

(2) 第45回理事会への提出議案について

① 会長、副会長及び専務理事の互選に関する件

② 副会長の会長職務代行順位に関する件

③ 顧問、参与の推薦に関する件

(3) その他（事務所拡張、公益法人制度改革、会員増強等）

2. 第33回運営委員会

開催日・場所： 平成22年 2月19日 名古屋商工会議所

議 題：

(1) 第46回理事会への提出議案について

平成21年度収支予算書変更案の承認に関する件

平成22年度事業計画書案及び収支予算書案の承認に関する件

平成22年度短期借入限度額の承認に関する件

入会会員の承認に関する件

役員（理事）の選任に関する件

顧問の推薦に関する件

(2) 理事会報告事項等

平成21年度事業概要報告

平成21年度収支見込み

その他（報告事項：公益法人制度改革への取り組み状況）

3. 運営企画会議の開催

開催日・場所： 平成21年12月18日 ウィンクあいち

議 題：

(1) 講演 「公益法人制度改革の最新情報について」

- (2) 公益法人制度改革への対応について意見交換
- (3) 平成 21 年度活動進捗状況
- (4) その他（新ホームページ、今後の取り組み）

4. 定例運営事務局会議

産業界代表（三菱重工業(株)、川崎重工業(株)）から航空宇宙産業振興に必要な課題の提案、センター運営についての助言などをしていただき、事業に取り込むべき課題など及びその進め方について相互に議論をする場。必要に応じて行政からも助言を頂くために、出席を要請。

原則 隔週火曜日開催

5. 定例ミーティング

情報の共有化とこれからの取り組み方向の意見交換を主目的に開催。

原則 毎週月曜日開催

IV 庶務事項

1. 登記事項

平成 21 年 6 月 理事変更登記及び総額変更登記

2. 届出事項

文部科学大臣及び経済産業大臣に対し、1. の登記事項及び監事の変更についての届出等を行った。

3. 組織の拡大と事務所

愛知県並びに名古屋市からの委託事業「ふるさと雇用再生特別基金事業」は地域求職者の雇用機会の創出支援を行うもので、平成 21 年 7 月 1 日付で常勤職員 7 人、非常勤 2 人を新規採用しました。また、人材育成事業でも 2 人の非常勤職員を採用すると共に常勤アルバイト 1 人を採用しました。

それまで常勤 4 人、非常勤 1 人から一挙に常勤 14 人、非常勤 6 人の組織になりました。

これまで 25 坪の事務所でしたが、隣室の企業さんが事務所を閉鎖するとのことで、それを借り上げて 50 坪に拡大いたしました。